



『江戸城の天守閣再建を断念させた 保科正之のお話し』



江戸城にあった天守閣は、明暦3年(1657)、明暦の大火(八百屋お七の振袖火事)によって焼失した。現在、焼け残った天守台が皇居東御苑に残されている。

天守閣を再建しないという決定を下したのは、保科正之(ほしなまさゆき)であった。正之の出生や生い立ちについては、先に書いたと思いますので、ここでは省略します。

3代将軍家光は、ふとしたことから異母弟である正之のことを知り、その人柄に絶大の信頼を寄せました。

家光は、慶安4年(1651)、48

歳で臨終に際し、正之に、10歳で4代将軍になる幼い家綱の後見役を依頼しました。

明暦の大火は、明暦3年(1657)、正月18日日本郷丸山本妙寺から出火、翌18日には小石川伝通院前と麴町からも出火など3件の出火によって江戸城本丸、二ノ丸、三ノ丸、天守閣をはじめ武家屋敷500余、寺社300余、倉庫9,000余、橋梁61を焼失、死者10万余人ともいわれ、江戸の町の大半が焦土となったほどの大惨事であった。



江戸が、焼け野が原になったとき、将軍の後見役であった正之は、火事の7日後には新たな都市計画を元にした測量を開始した。

それによって、江戸は世界一の都市になった。

江戸城の天守閣も焼失したが、庶民が苦勞してときに再建の必要はないと言って、再建しないまま幕末まで放置され今日に至っている。

明暦の大火後、驕奢禁止令を発し、焼失した武家屋敷の華やかな再建を禁止した。それにより武家に権力はあるが、生活レベルは庶民とさほど変わらないという空気が生まれた。それによって幕府に対する不満は減少し、世の中が安定した。この後の徳川家の文治政治の礎を築いたという。保科正之、これほど数奇な運命を辿り、善政を行った徳川家の人は少ない。

●西山さんへ 20:20



メール頂き、江戸城 天守閣再建を断念させた保科正之のお話し 読みました。

保科正之氏は 出自が 2代将軍 秀忠が鷹狩に出た時、生涯で一度、野良にいた娘と交わった。

その時に 誕生した 保科正之(会津藩初代藩主) 考え方が しっかりした藩主、家訓を残されたお方と 東京見物時の 西山さんの案内書に記載されています。

これを参考に 天守閣 再建しないままに幕末まで放置され今日にいたっていること わかりました。



●木場さんへ 7月31日 7:12 おはようございます

話ではそうなのですが、野良で交わることは、はなはだ不用心です。

秀忠の正室「お江」の侍女であったようです。
「お江」は大変嫉妬深かったようです。
気の強い淀殿と姉妹ですよ。
「講談 保科正之 出世葵」で検索すれば聞けるかもしれませんが
江戸城の天守閣再建を推進したい人たちがいるそうです
それがいいことの意義を知らない人たち
または知っていても再建したい人たちが
伝統を守る、先人の教えを守ることの大切さが忘れ去れています。



●西山さんへ

早々に 返信頂き有難うございます。

いろいろと 知識が 増えていくような気がします。では、また

●7月31日 木場祥雄



大石さん

かごしま見聞録 谷山筋 j11 伊牟田尚平 のメール頂きました。 ありがとう。

かごしま
街道見聞記
桐野 作人
[76]

谷山筋 j11 鹿児島市



伊牟田尚平の墓
鹿児島市喜入町
鹿児島市喜入町

伊牟田尚平、江戸城放火

幕末の薩摩人でもっとも奔放、豪胆で異能の人物といえ、まず伊牟田尚平(1832~69年)の右に出る者はいない。彼には以前から注目していた、かつて本紙での連載「さつまいん国誌」でもじつに9回にわたって掲載したほどである。伊牟田の37年の短い生涯のなかで、その抜群の行動力にまつわる史実や逸話が多い。そのなかでも、もっとも規模が大きくて衝撃的な事件は江戸城二の丸への放火である。この事件は幕府による薩摩焼き討ちを招き、鳥羽伏見の戦いのきっかけのひとつとなった。

慶応3(1867)年12月23日早朝5時頃、突如として江戸城二の丸の御広敷屋敷長局あたりから出火して炎上した(慶

か、その抜群の行動力にまつわる史実や逸話が多い。そのなかでも、もっとも規模が大きくて衝撃的な事件は江戸城二の丸への放火である。この事件は幕府による薩摩焼き討ちを招き、鳥羽伏見の戦いのきっかけのひとつとなった。

慶応3(1867)年12月23日早朝5時頃、突如として江戸城二の丸の御広敷屋敷長局あたりから出火して炎上した(慶

ていた。指揮するのは薩摩藩士の益満休之助と薩摩脱藩士の伊牟田だった。彼らが江戸市中で攪乱工作をやっていた、江戸城放火もその一環だった。

明治26(1893)年、史談会が幕末維新期の関係者に取材するなかで、薩摩出身の寺師宗徳は「伊牟田などが団炭(炭団)をか、を風呂敷に包みて塀を越えて入って、本丸(二の丸の間違)の玄關の畳を毀して、その下に団炭を入れて火を点けた」ということを聞きます(「史談会速記録」第十五輯)。

また同じく市来四郎も「マッチの流行りかけで、長崎から畳をこすって火の出る物を持ってきていた」ということであつたと語っている。

二人の談話によると、伊牟田は長崎で流行っていたマッチを持参して、炭団に火を点け、それを畳の下に投げ入れて火災を起したというらしい。

しかし、伊牟田が警備が厳重な江戸城内に簡単に侵入できるとは思えない。じつは内部から手引きする者がいたらしい。

放火から一夜明けた24日、天璋院付きの女中が「御不審掛かりに御暇」を取られたという(「慶明雑録」四)。天璋院付きの女中に手引きの嫌疑がかけられたのである。

また別の史料には「天璋院様の女中花川など3人を(城から)御下げになった。24日(23日か)のことで花川は申し開きのため

れを畳の下に投げ入れて火災を起したというらしい。

登城したけれども、定めて中途にて殺害されたのではないか」とある(玉里島津家史料五「江戸仕抹聞書」)。

花川は口封じのために殺害されたというのだ。誰の手によるものかは書かれていない。

江戸城の長い歴史のなかで、外部からの侵入事件としては、安政2(1855)年に無宿者と浪人が御金蔵から4千両盗み出したことがある。

しかし、伊牟田の行為はそれをはるかに上回る大胆さであり、しかも、幕末維新史上の大事件だった。

伊牟田は喜入を領した肝付家の家来で、山伏の家だったという。幕末を駆け抜けた末に非業の死を遂げた伊牟田の墓は郷里にひっそりと立っている。

●江戸城に忍んで放火とは、すごいですね



伊牟田尚平、益満休之助、相良総三の3人が、江戸市中と関東で騒動を起こすために京からやってきた。藩邸を焼き討させることで討幕の口火を切る成果をあげた。伊牟田尚平は配下の罪を問われて詰め腹を切らされた。

益満休之助は、上野戦争で被弾し横浜の病院で死亡。
相良総三は、偽官軍の濡れ衣を着せられ斬首された。

大奥は平川門近くにあり、女中衆はそこから出入りをしていたので、伊牟田尚平は誰かのお供という形で平川門から城中に侵入したと思われる。となれば、天璋院篤姫も承知であったと思うのが自然な流れであるが、天璋院の徳川家への尽くし方を思うとそうでもないような気もする。いずれにしても、1人で城、しかも江戸城を焼き落としたとは、伊牟田尚平、本当に凄い。 西山和宏

●8月4日 大石ケイジの奥羽スケッチ⑤三内丸山遺跡



<https://youtu.be/Mo-Bi0uRV4E>

ご覧ください。 大石



●西山コメント



製材して、直径1 m、高さ16mもの巨木をどのようにして運んできたのか？

6本柱、どのようにして横の木を縦にしたのか？

当時は、当時なりに技術があったのでしょうか！

当時の人たちは衣服をまとっていたのでしょうか？

5000年前でも、それなりに高度な文化や技術があったのですね！

●8月4日 20:40 木場コメント



大石さん

三内青森遺跡 見ました。5000年も前にこのような建物などがあり、大勢の人々が集団生活していたこと 驚きです。

色々なこと 文化面も含め、中国から伝わって来たと 学びましたが 逆に 日本 独自の文化 旧石器時代・新石器時代、そして縄文・弥生時代を歴史の時代として出てくるようになってき、今後の調査がもっと進めば、面白くなってきそうな気がします。

一度、行ってみたいと思うようになりましたが、まず 健康でなければ なりません。

有難うございました。

●21:00 大石アンサー

もしかしてだけど、奇想天外な思いかもしれないけど縄文時代始めの頃は哀楽の感情に比べて喜怒哀の感情つまり(勝ち負けの)DNAが著しく少なかったのではないだろうか？当然争いもなかったでしょう。



喜びもほどほどに...年齢(大人, 青年, 子供)による上下関係が何千年も続いたのが縄文期だったのでは。

縄文から弥生時代そして日本人に成長(混ざり合っ)ていくわけで歴史も中国の夏王朝(日本だと縄文から弥生へかかる頃)辺りからが調べても感情移入出来ますネ。何層も地下深くに生きていた縄文人に少しでも接してみたい...三内丸山遺跡を訪ねてガイドさんの話を熱心に聴き入っている人たちはお互い連れ同士でも会話(私語)が少なかったような気がしました。語るほどに書けないのがまどろっこしいけれど西山さんが何を着てたんだろう...まさに縄文人の実像が浮かんでこない、想像出来ません。



●21:12 森コメント



この住居模型の人物たちは髪をきれいに結ってるけど石器しか無かった時代にどうして髪を切ったのか？考えれば考えるほど謎は深まっていきます。トイレの跡は残っていないのか等...

●7:39 西山コメント



みなさん

おはようございます

縄文人は日の出前に起きて、日没後には横になりました。

そのまま寝に就く人もおれば、そうでない人もいました。

さて、森さんの指摘、面白いですね

英語で、

野蛮人 **Barbarian**

散髪屋 **Barbershop**

髭を伸ばし放題、つまり髭を剃らないのは野蛮人 **Barbarian** だと言いました

バイキングなどが髭を伸ばしているのは、「俺は野蛮人だぞ」と怖がらせるためのものであったでしょう。

おそらく、**Barbershop** は、髭や髪を切ることができる、たとえそれが石で作ったものであれ鋭利な物を持っていたのでしょう。



その後、赤と青(動脈と静脈)が散髪屋のシンボルになっています

また、医師、特に外科医が散髪屋を兼ねていたということは鋭利な刃物と関係があるのでしょう。

江戸時代、武士は髭を伸ばすことを禁じられていました

月代を剃らずに髭を伸ばし放題にすることは許されませんでした

馬子にも衣装、髪形


とはよく言ったものです。

●12:56 大石コメント



1 万数千年続いた縄文時代(平気温度が今より 2 度程高く住みよかった)のさらに前、同じく 1 万数千年、まだ日本列島が大陸と地続き(日本海が大きな海水湖)だったころ、石器時代と呼ばれた時代があったことに驚きます。

平均気温は今よりずーっと低く(6.7 度くらい)

マンモス などを食料にしていたそうですね。

それでも日本はその当時、世界中で人類(日本人の祖先)の住みイイ地だった、と聞いています。

又、森くんが、想像を働かせることを楽しみに書いています。

新か旧か分からないけどクーラーの効きすぎた大地に住んでいた石器人になってみるのもいかがでしょうか？

●16:05 クマモトコメント



いつものように身边がざわついている私も、やっと大石くん撮影の動画をゆっくり見る事ができました。
先ず夕暮れの東北の空を眺めながら下北半島から青森への列車での旅のことです。

東北をよく知らない私は、別世界で暗く寂しいところという印象をこの歳になるまで持ち続けています。

そういう先入感があるせいでしょうが、夕日も車中の人々も、そして居酒屋さえもそういう風に見えてしまいます。

そういう概念を吹き飛ばすには、もう一回東北の本当の姿を見ないと駄目でしょうね。(笑)

いやいや、これは私の偏見です。気にしないでください。

さて三内丸山遺跡の事です。

5000 年前にあのスケールの住宅地？ があったのですね。住居 100 戸、住人 500 人は凄いです。

6 本柱の建物の役目についても諸説あるようですが、ほんとうのところ何だったのか興味津々です。恐らく解説にもあったように多目的なものだったのでしょうか。



食べ物探しに行って帰って来る時の目印だったのではという説に、説得力を感じました。神殿、物見やぐらなどあれだけのスケールですからどれもあたっているような気がします。

最後に出てきた「大型竪穴住居」も凄いですね。5000 年前、日本で最先端をいていたのでしょね。

●8月12日は『山の日』LINE 応答



今日は天下の公休日、山の日。登れとは書いてないから、見るだけで国民の義務が果たせます。鹿児島におい衆やせめて城山に。桜島どん眺むればダブルで山の日。下池

● 桜島山の写真をみながら、この山に登山した事を、懐かしく思い出しています。



それも 2,,回です。

● 下池さんとコンビでぶた箱 仲間が出来てよかったですね 永野和枝

-イチロー病に負けず！LINE 応答-



今でも前立腺がんを乗り越えてバッティングセンターで若者達の挑戦を受けバットを振り回している薩摩のイチロー凄いの一言我々も彼の挑戦者になって頑張りたいです(すごい) 南郷



お忙しい中に私の事まで気にかけて戴きありがとうございます。
顔では笑っていますがオムツと自己導尿生活と慢性膀胱炎に生きる事に疲れ果てているというのが実際の姿です。

私ごときに夢を託して下さる人達を裏切りたくない、という唯一つの責任感に突き動かされているだけです。凄くはないです。
満山一朗



何い事も一徹、満っちゃ山一徹、真正薩摩兵児。暇があったなら、傾しけた首ぶ真っ直ぐしっ、総入れ歯いっせー笑るえば現代鹿児島ヒーロー。じゃーが、気張れー！八期生の誇り。玉竜の偉人！あと、野球帽、野球ユニフォーム、野球靴ちすれば、大谷と変わらん。下池



薩摩のイチローの泣き言はイチローには似合わない(はい)八期の仲間が元気なイチローの挑戦する姿を見て自分自身も頑張る(ぞ)とっています(す) 善之助



・満山君 復活してきましたね。
私も負けないように頑張らなくちゃ！！ 永留弘之

今朝不忍池へ行って蓮の花を見てきました。LINE 応答 西山



皆さんおはようございます。今朝不忍池へ行って蓮の花を見てきました。西山
今朝は、蓮の花の満開を期待して行ったのですが、桜のような一面満開と言う事は無いようです。

花びらというか、顎が落ちて蓮の花の種部分だけが残ったものが結構ありました。

咲いている花の数は先週訪れた時とさほど変わりませんでした。

しかし蓮美の数が増えていました。全般的に蓮の背丈は伸びているように感じました。

帰りがけになって太陽を見ることができました。

○今朝は長いもの6分以上のものを取りました。その送信を試みたらダメでした。

Wi-Fiに接続して送ってくださいとの事ですが、やり方が分かりませんので、1週間ほど前に撮ったものを送ります。
状況は今朝とあまり違っておりません。

○☀️早くからご苦労様です♪今日という日待っていましたありがとう。不忍池からの初日の出観ています^o^和枝



細切れよりも長いものが良いと思ってとったら、今度は容量オーバーで送れないということになりました。
それで細切れのもの先日撮ったものをお送りします。

□ 私5時半に起きて、パソコンの前に座っていました。



横でスマホが、ピコンとなり始めて西山さんからのラインを見ることが出来ました。
不忍池の様々な朝の風情いいですね。早起きして大変ですね。ありがとうございます。隈元

□ 大変なのは、早起きよりもスマホの方です。(スマートフォン)少しずつ覚えたいと思っています。西山
これから8時近くまでパソコンの前に座ります。(パソコン)



先ほどは家の子マークが出てなかったです。Wi-Fiに繋げと言うので有線かなあとと思ったけれども、もちろん無線ワイヤレスでつながるわけですねと思って再度送信を試みました。

□ 西山さん！ お久しぶりです。

不忍池の池の蓮のアップ、懐かしく拝見しました。

大昔、貴兄のお住まい(西片町)のすぐ近くの追分町にあった、同学舎(島津家が、明治時代に建てた三州出身のため



の学生寮)に4年間お世話になりました。その学生時代暇の時、仲間たちとよく

寮から根津神社から不忍などに散歩に出掛けたものでした四季折々のよそおいを見せる池や上野公園まで、歩いたものでした。

また、駒込駅近くの六義園なども、散歩コースでした。

東大構内だつて、眼の前でしたので、三四郎の池なども。

現在は、同学舎は、日野市に移転していて、追分の土地跡は、文京大学の一部になっています。大学の本郷通りの正門入口近くに、同学舎跡の石碑があります。本田



□ そうですねすっかり変わりました。文京女子大は、男女共学の文京大学になりました。西山

□ 西山さんのスマホは Android (SONY とか) ですか？大石


もし iPhone (Apple) ならスマホの中に動画作成アプリ (iMovie) が初めから入っているので便利です。


たいいてい (5 分以内) のムービー (テロップ入れたり BGM 入れたりもちろん小間切れ編集も) を作れます。




撮った細切れ動画をパソコンに転送してパソコン内の動画アプリ (例えばムービーメーカーはパワーディレクターを使っています。) で作るのは面倒です。

もっとも、ぼくは今 YouTube にアップしている動画作成はこの面倒なやり方ですが。

もしスマホで  撮った写真や動画の簡単な編集ならスマホで好きな長さに作って出来上がった動画をパソコン移動するのがいいと思います。

細切れ動画を LINE など使って送ると 2 週間くらいで自動消去されます。gmail などでも容量オーバーで送れません。(メール) ちょっとぼくの iPhone  で LINE に載った西山スナップ動画を繋いで見ました。(下)

ちなみにぼくの使っているパワーディレクターは DVD  なので西山さんが使っていなかったら送って上げてもいいです。

大石



□ 私のスマホはアップルです。見事な編集ありがとうございました。西山

木場祥雄さん、入院！

□ 8月7日



西山さん、不忍池のハスの花見ました。朝早くからご苦労さまでした。ハスの花はよろしいですね！ 見るのが遅くなってすみません。今日から入院です。木場

□ まだ暑い日が続きますから、お大事にしてください。西山

□ 木場さん、一日も早いご快癒を祈っています！！ 森繁

□ 西山さん

森さんありがとうございます。よろしく木場

□ 木場さん！

如何、なさいましたか？

自分も、ここ 20 年ほど、糖尿病により、まいとのように、入院していました。

どうぞ、お大事に！ 本田

□ 本田さん、隈元さん、昨日終わりました。痛みはありますが、回復待つのみです。ありがとうございました。木場

□ 木場さん

この暑い時期で大変でしょうが、良い方向への治療なので一踏ん張りしてください。

明けない夜はないと思っています。

自分の事で恐縮ですが、そう思って毎日を過ごしています。隈元

□ 本田さん、隈元さん、昨日終わりました。痛みはありますが、回復待つのみです。ありがとうございました。木場

8月13日 西山レポートをお送りします。レポート pdf は添付します。



●西山レポートを読んで...

来店頻度と滞留時間の関係...



客数が増えて、より長い時間買い物^_^をする、つまり客単価の増を目指すことですね。

品質についてのビッグスリーの評価は如何に。

日本のコンビニ業界(三大と)似た比率ですが、話しはグッと身近な話しになりますが、ぼくは今までセブンの

弁当類がダントツと思いほとんど7で買っていました(たまにですけど)でも時々行く病院の中にはローソンしかなく、

のぞいて見たら、買いたくなるのがいっぱいあって試しにラーメン他オムライスなど何種類か購入して食べたらたちまちファンになりました。

近くにある大型スーパーとは段違いです。

レポートの感想が...つまらないおはなしで終わりました。

●いや 大変立派な反応です

流石、自営業者という感じです

流通業界に従事している人でも

サラリーマンは、あなたのような感覚を持ったは少ないです

好物が他にあることを知った顧客は、その後、改善しても戻ってこない

西山和宏

「新しい戦前」なんて嫌ねッ」 8月15日 黒柳徹子 pdf 添付します。

黒柳徹子の

東京・乃木坂で生まれ、新交響楽団(現 NHK 交響楽団)のヴァイオリニストだった父の下で育った私は、戦前は不自由な食事ができていました。そんな家庭ですら、戦争が始まるとあっという間にモノは消え、お金があっても食糧が手に入らない状況に陥りました。というようなお話が書いてあります。=====西山和宏

8月15日 古市庄八郎

●大石さん 旅の疲れもないようで、元気な様子何よりです。



恐山は小生も行きましたが、関係者の話は聞かず、小ぶりの温泉、2か所を楽しんだ記憶があります。幸い他に入浴者はいなかったの。いい湯でした。

ところで高校野球は熱戦たけなわですが、鹿児島代表の神村学園は2戦とも大勝し3回戦に進出がき

まりました。

地元の反応はいかがですか。相変わらず“よそもん”意識が強いのでしょうか。鹿商や鹿実などかつての地元名門校の凋落ぶり（玉龍もそうですが）を目にすると、そうも言っておれないと見直し機運が徐々に高まっているのでしょうか。

地元高がダメになってきたのは人材の問題ですか、それとも指導者の問題でしょうか。

佐倉市 古市

●大石アンサー



こんにちは庄八郎さんもお元気なようでなによりです。今回の旅のいちばんの後悔（帰ってから振り返って

見て）は庄八郎くんにあります。

26日にいただいた貴重なパンフレットを3日もホテルに置きながらじっくり見なかったことでした。オススメ場所と道筋おまけに問い合わせ先など、帰ってからパンフレットをじっくり見ると「あーあの前の晩にこれを読んでたら…」ばかりです。

決めてしまった目的地へはホテルのフロントや駅横の旅行案内所に飛び込みルート聞きながらの旅ではありませんでしたがせっかく集めて貰ったパンフレットの活用をミスってしまいました。

実は、28日の3日間の東京での衣類土産、資料（庄八郎くんに頂いたパンフレットの半分くらい）宅急便で鹿児島にホテルから送ってしまいました。

パンフレットは帰ってから振り返り時の資料に今もYouTube作成の大事な参考書です。

書けば後悔は長くなりますので又の機会にします。

高校野球は今年はとりわけ面白く観ています。

東北地方を旅したおかげですっかり東北7校に愛着心がわいてしまい。

九州7校と併せて14校が覇員校になってしまいました。一昨日の福島県伊達市の「聖光学院」と宮城の「仙台育英」の勝負などスマホでそれぞれの高校の位置をマップ検索しながら応援しかたでした。

八戸学院など旅の最初に泊まった居酒屋を思い出すことでした。

確かに、昔は神村学園（串木野市）や決勝進出した鹿屋中央などは、鹿児島実家や商業など地元から見たら地方校で神村などは学校を売り込むため選手を都会の優秀な選手をスカウトして作った「よそもんチーム」とほとんどの市内ファンは言うてたものです。

でも今はそう思っている人はあまりいません。今いちばん強いチームに番狂せ無しに選ばれて欲しいと思っています。

ですから鹿児島代表決勝戦では8割の県人が実力通り今年神村学園をおしました。

仮に決勝戦が鹿実が相手だったとしても地元旧市内ファンも半々で神村を推す人がいたのではと思います。

今回長い文になってしまいました。

秋のいい季節に三人で一泊旅行（上高地）実現したいです。出来たらそのまま佐渡島と鶴岡市辺りまで…

来年春には東海道5次くらいどうかな??

●隈元コメント



大石くん

最近の神村学園の選手は鹿児島県人もいるようですね。

娘婿が少年野球チームにかかわっていたこともあり、言っていましたが串木野の少年野球クラブチームにいた選手が神村のレギュラーになっているそうです。

確かに初めの頃は神村を応援する人は少なかったですが、私も応援するようになりまして。

近所の女の子が武岡中学校から、神村の吹奏楽部に入ったことも影響しています。

お盆も終わろうとしています、体調が良い日と悪い日があって、先日は毎年2回やっている血液検査など少し早めて健康診断をしましたが、むしろ前回よりも良くなっているデータが多いと医者に言われました。心配ないだろうとのことでした。そうは言ってもただ体重がガタ減りで、50kを切りました。(原因は不明)恐らく東京旅行の頃は、もう50kを切っていたと思います。

そういう中で、秋の体調回復を前提に、旅の構想が頭を駆け巡っています。ある時は、滋賀も含めた関西、ある時は長野(ここは何日いても回り切れないほど妄想が膨らんでいます。妻籠宿、馬籠宿、奈良井宿なども行ってみたいし、もちろん善光寺なども)もいいなあと思ったり頭が先行して彷徨っています。いずれも体調次第です。

隈元達雄

●15日大石アンサー

大石です。



今日は高校野球がないので何日ぶりかでパソコンの前にはいます。東北回憶「スケッチ」が津軽海峡を越える前でひと休みしています。

先ず、コメントにあった貴兄の体調についてですが、確かに東京旅の時は顔がいつもより細く見えました。

でも、歳をとっていくと人はたいていが、段々やせていくものですから隈元くんも人並みに、と思うくらいでした。

デモ、食欲さえあったら大丈夫でしょう。気にすることがいちばんの原因ではと思います。

隈元くんの場合は、やはり旅がいいでしょう。ものは考えようですが、「医者に止められないうちに」と逆に考えるのもありではないでしょうか？

旅先の話に飛びますが、(妄想が膨らむ)長野県と言うより・・・街道巡りが夢なのではでしょうか？

浅田次郎の『一路』を読んでほくも宿場、宿場を歩いてみたいと思ったこともありました。

隈元くんのお気に入りの路線バスがいいかも知れませんね。

江戸時代の風情がそのまま残る参勤交代の宿場を巡るのもいいかも知れません。

先だって小江戸と言われる埼玉の川越市を2回ほど1泊で訪れる機会がありました。

江戸時代の映画のシーンのような通りを歩きましたよ。

でもダメですね、浸れませんね「スマホの撮り癖」が身についてしまっています。

ぼくは今回の東北旅でも出来るだけ旅は身体で感じよう、と、映したらすぐスマホをバッグに入れるよう心掛けました。

ところが帰って来て後悔するのは「もう少しあれも、これも何故、撮って来なかったのだろう」と思うのです。

①旅に出て、②気にいった所を撮り、③帰つて編集して、④思い出を記録・制作して、⑤発表する・・・・・・半生のうちにそんな癖が自分の旅の副産物になってしまっています。隈元くんも似たようなところがあるように感じます。

●相変わらず食欲は旺盛です。

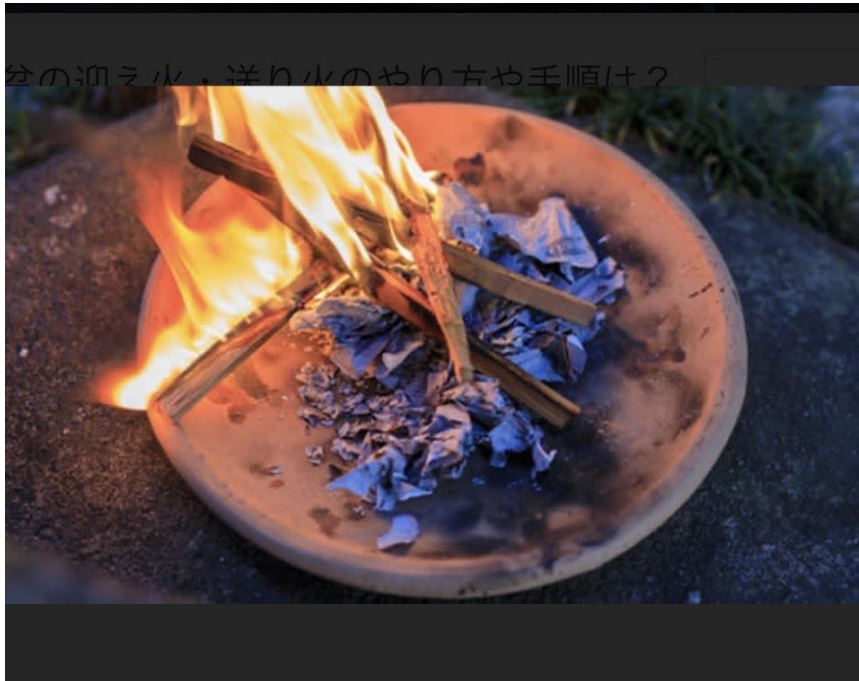


日替わりの体調変化さえ無くなれば、秋にはまた旅に出れそうです。

どこでもいいので、また一緒に行きましょう。

隈元

お盆について LINE より



- お盆三ヶ日の締め、形ばかりのささやかな送り火をした。ご先祖様への感謝を込めて、家内と思い出話をしつつ古へからの情緒に浸っている時、無粋な声が。火を消して下さい。



なんとパトカーから、昨日、警察官になったばかりのような幼な顔を突き出して、繰り返す言うではないか。

バケツに水も準備していますからと言っても、しばし動かず。送り火というしきたりを説明しなければ、ならない世の中。迎え火の時パトカーがこなくて、よかった。

ご先祖様が帰ってこられないところだった。さて、線香花火を夏休み中の孫と楽しみたいのですが、如何なものでしょうか、お巡りさん。 隆

- 日本文化の風習が無くなりお盆の送り迎えも時代と共に変わりようは伝統文化が崩れ落ちて



きているみたいで寂しい気分ですね。お墓参りもスマホで済ます時代になりコロナ感染以降社会生活がガラリと変わって行くのが肌で感じるこの頃で(す) 善之助

- 盆に迎け来んとなら、仏さあいないやんな。 下池

- 福岡の盆の寄り方でこげな焼酎が出てきました。何と懐かしい。柳町の相良酒造。まだあったよいじゃー！ 隣の春



日町いな相良というどうしようもない不良がおったが、その後どうしたことやら？ 下池 写真も



- ここじゃろ 森 写真

- こげな焼酎もつくつちよつど 森

悪太郎写真



●相良ちゆうた人吉ん出じゃろ。ガラが悪いからせんな？ 旧鹿児島市内で唯一の焼酎メーカーちよかぶつちよつ。吉野



ん唐芋をずる一つこさつ集めつ作ったたーろ。下池

●よっほど相良にいじめられたとじゃろな□森

●相良さんと言う人永野の隣にいました。一族のかただとおもいます？アルコール中毒



で亡くなりました。役所を退職された、立派な人でした。
最後は裸のまま、近所の酒屋さんに焼酎を買いに行ったりしていました。



アル中でしたー アルコール中毒の可哀想な方でした😞 和枝さん

●焼酎の飲み過ぎ？森



8月18日

Re:木場 退院 返信連絡 御礼

●大石さん



早々に 返信 頂き有難うございます。

お腹に 異物をいれたわけですので 3~4日間 全然 食欲がわかず、
苦労しました。カロリーメイトで 栄養を補う また それしか
受けつけない日が 続きました。

7日ぐらいから 普通に戻りました。

左足動脈瘤手術のため、右側より 少し深め、位置も側にずらし、筋肉部分を切って、差し込まれたようですので 左側の方が 痛かったです。

年末までに・・・と主治医が言っておられるので、ぼちぼち・・・といった感じで 進めて行きたいと思います。
有難うございました。

木場 祥雄



身体がきついのに早々に、返信ありがとうございます。

そうですか？

食欲がわかない・・・のもきつかったでしょうね！

左足手術があるので反対側の筋肉部分を切って？？結構難儀されましたね。

どんな手術もそう簡単には行かないものですね。「幸いにも」と言うのもあたりで、ドラマですね。

まァ、美味しいものを食べて、ゆっくりしてください。



退院！ 皆さん 今日は！ 毎日 暑い日が続いております。

お変わりなく お過ごしのことと 存じます。

私事では ありますが。先日 お話しておりました、腹部大動脈瘤
ステンドグラウト挿入手術を関西医科大で 行いまして、うまくいき、本日 退院しました。

左足の膝部分の動脈瘤については、経過を見ながら、年末までに
外来で 診察、治療を受けながら、具体的に進めて行きたいと

考えております。

今のところ、日常の歩行には 支障ないです。

毎日 4～5千歩のウォーキングしながら、次の治療に 努めて
行きたいと考えております。

取り急ぎ、ご連絡まで

木場 祥雄



ご退院おめでとうございます。無事手術が終わって安心しました。
暑さがまだまだ続きますお身体に気を付けて無理のないようにお過ごしください。

木場さん



まずは退院 おめでとうございます

良かったですね

4000～5000 歩のウォーキングとは

随分頑張りますね

その思いこそ大切かもしれません

緩々猿来ようにしてください

またの再会を楽しみにしています



大石です。木場さん退院おめでとう

たぶん祥雄人生のなかで初めての大きな手術だったのでは？内臓の摘出手術に比べたら、どうなんですか？

手術自体は出入の差こそあれ主治医の腕任せなので、何があっても不思議ではないので無事成功裏に終わったことは何よりもめでたいことです。

そして、もう歩いている??しかも 4,000 歩とはがんばりすぎじゃないですか？半分の 2～3000 歩くらいがいいのでは？

秋には又どこか旅するチャンスがあれば、と思っています。その時はぜひ又ご一緒しましょう。



退院おめでとうございます。

まだまだ暑い日が続きますので、ウォーキングも慎重にしながらお過ごしください。

私は夏場は週 2 回のグラウンドゴルフだけにして、買物など以外は歩かないようにしています。

隈元達雄



木場祥雄様

手術成功、無事退院とのこと。

おめでとうございます。

朗報に感謝。

では、また、お元気で。

隈元雄厚

玉龍八期会 LINE に投稿されたコメントを拾って掲載します。 大石



それはそれは貴重なお話を。その方は相良久男じゃなかった？春日神社の近くの相良自転車店と関係がなかったか、ついでん時尋んねっみやんせ。アル中が移らんごっ気をつけんな。下池

昔懐かしい安楽酒造。潰れて買収されたいが、あまり聞きたくない名前だなあ。同じ名前の玉竜ん英語ん先生もちった呑んゴロで英語嫌いを大量養成しやった。ペトロ先生なら今ごろ英会話ペラペラのペラ。八期生全員！ LINE も English。 下池



今日は、賑やかな一日になるだろうとは、思っていたのですが。神村学園がこんなに活躍するとは、県大会で、ようやく勝てたぐらいだから、それほど期待は、していなかったのに、ベスト4だよ。鹿児島のレベルって、相当なものですね。頂点を目指して頑張って！感極まって日が暮れて、一万五千発の花火大会。天文館地藏角交番から我が家を経て、ドルフィンポート迄のボサド通りの混雑、行きはよいよい、帰りは、怖い。身動き出来ない様、花火を見たり、人の波 見たり、いやはや騒々しい一日でした。今夜は、ぐっすり眠れそう。おやすみなさい。 隆

●花火



野次馬根性で現場で撮ってきました!! 15000 発の最後の打ち上げです 森
見事な花火！羨ましい。福岡の花火はひと息れで呼吸もできない大群の人出に主催者が危険を感じ、ついに廃止したから、最近花火日照りの残暑の日々。下池

八期の皆様 もう少し暑い日が続きますが、くれぐれも、お身体に気をつけてお過ごしください。下池



永野和枝

高齢者の皆さんあまり、夜サルカない方がよろしいです♪ 動画は森さんをお願いして!?! 音だけはドーンと? 聞こえました。下池



ドーンと聞こえた?! 良かなあ。こっちはんどんスん。高齢者の皆さん、ハダカでタイヨーい焼酎買け行たつみやい、パトカーが連れっじつど。神経病院さいじゃろ。下池
杖スピーチ

下池さんは アルコール中毒になったら笑い物になるから 気をつけましようと言っているところだと思います。森さんは大丈夫です(?) 下池さん焼酎を飲みすぎではいけません!?! ほどほどにたしなんで下さいよ。下池

下池さん 相良さんは 裸!?! 全部裸でした。近所のおくさんは喜んでいました。残念ながら私は見損なつた。

花火大会が終わったら蝉の季節になりました!! 森

上山祐子より



八期のみなさまおはようございます。朝早くから、家事を手早く済ませて、テレビの前に陣取っております。神村学園頑張れ!

和枝スピーチ

森さん 南国バスの、時刻改正の為時刻表をバス停留所に行きました。城山の森 大明丘ご近所さんがお迎えに来ています。びっくりでした!! 私も城山の森にやがていきます。よろしく

和枝スピーチ

神村学園、応援がんばります



8月21日 準決勝第一



神村学園残念でした。我が母校も五代投手の頃甲子園に行ったことがあったよね。森

スピーチスピーチスピーチ

野球部の昼食風景 森くんより写真 2 枚



朝からちょっもたな。おー、南ん園ん！こんしも裸じゃれば、ホンノコテ、女生徒さあ達っが喜るくつちよつ。
当時、何をたもっているかねえ？下池

野球部八期の同期生は南園、佐々木、加治木、岸尾、有村、北園君たちがいるようです。森



西山



玉龍の野球部はレギュラーになれないと辞めていったと加治屋さんがおっしゃっていました。3年まで残った同期は、有村、佐々木、岸尾、藤田、南園です。今から約10年前の平成25年2月に農林水産省副大臣になられた加治屋先輩のお招きで国会見学をしました。

隈元コメント

野球部の懐かしい面々ですね。あんなに若い頃があったのですね。既に鬼籍に入った人も何人かいて寂しいで限りです。

森コメン



ユニフォーム写真の前列左端の選手が加治屋さんですね。昭和31年の写真(八期が1年生の時)かと思われます。眼鏡の先生は野田敬二先生です。

西山

ユニホーム写真には加治木がいますね。私も1年生の時だと思います。加治屋さんが1年生と一緒に写ってる理由が分かりません。3年の時は背番号10キャプテンサードを守っていましたが、2年生が1人だけ1年生と一緒に写っている理由が分かりません。

本田コメント 8月21日(月)



今朝の南日本新聞に、先におきた国分の高校生の送迎バスの転落事故の詳細な地図、場所と写真が掲載はれていました。その現場は、自分が、今まで国際大学に通う、坊野から、谷山に抜ける、山越えの近道ですか、現場から、すぐ先からは、バスなど、とても通れない細い道路となつています。運転手の方は、間違った事に気付き、おそらくuタウンしようとして、柔らかい道はしにタイヤがのめり込み、転落事故となつたと思われま

す。

皆さんが、永吉に来られた時に、自分が待っていた、七呂の三叉路を1本早く坊野方面に左折した事が間違いの始まりで、永吉ダムを通り過ぎてまで、山道を上っています。七呂の三叉路の1本先の三叉路を左折すれば、花熟里に出て、目的地の吹上運動場は、すぐ近くだつたのです。我々老生も、よく思い違いをヤラカシます。お互いに、心新たに、戒めたいものです。

8月21日 update

大石ケイジの奥羽スケッチ⑦ 函館五稜郭

<https://youtu.be/OFGQxMdLwAo>

今回の旅の自分に対するサブテーマが戊辰戦争(薩摩を先頭に政府軍が奥羽地方の旧幕府藩に対して多大な被害を与えた)の足跡を辿り、体験して学ぶことだった。そして、五稜郭と榎本武揚そして新選組副長・土方歳三が切り離されない深い関係にあることをここに来て資料や碑(銅像も)を見て知った。

帰ってから、撮った動画や写真を観ながら Google や YouTube で復習する内に、このような内容の作品になってしまいました。

●8:20

五稜郭、奉行所なんて知りませんでした。

タワーは家内と訪れた時に上りましたが講演などで訪れた時は、旧市街と新市街の変遷で商店街がどのように変化したかに興味がありました。

美しい映像のお陰で五稜郭の石垣の美しさを鑑賞しました。

ここでも安山岩が使われているのですね。

ダビデの星のような五角形、鉄砲による戦闘で考案されたのでしょう。開陽丸が健在であつたら新政府軍は苦勞させられたでしょうね。

土方歳三、武士ではない身で立身出世の場を求めて戦つたのでしょう。身分のある人たちは、降伏しても生きる道がありました。

戦争は、身分の低い者たちが命がけで行うもので、そうでない人たちは状況の変化に適応して上手に生き延びるものです。

今のウクライナとロシアでもそのような気がします。

映像のすばらしさに感心しました。

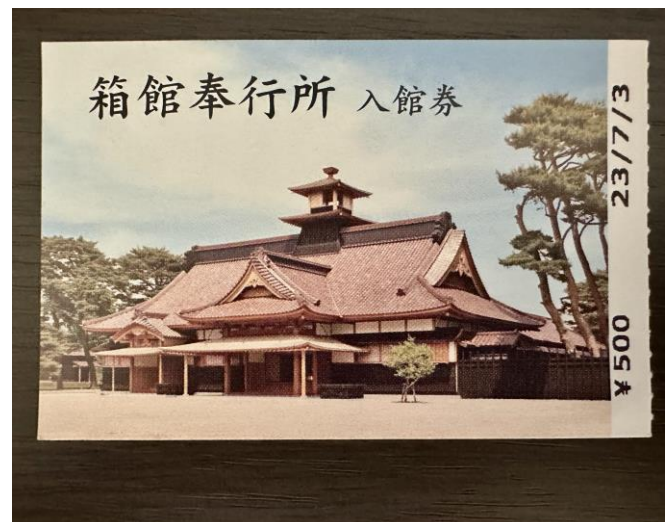
西山和宏

●9:21



西山さんもそう思いますか？

もし開陽丸が健在だったら、さらには威臨丸以下最初の船団を維持していたら、函館戦争は長引いたこ



とは確かだと思います。

しかし、新しい蝦夷共和国などが出来ていたら、それこそ列強の思いのままになって北海道は日本から離されてしまったかも知れません。

しかし、榎本武揚という人物はのちの明治政府内での活躍を見てもなかなか気骨のある男だったような気がします。



大石くんの動画と西山さんのコメントを見て、改めて戊辰戦争の最後の戦いとなった「箱館戦争」のことを思い起こしました。

私の二男が劇団にいる時に、「箱館戦争」のテーマで北海道で公演をしたと聞いて、当時少し五稜郭などについて調べたことがあるくらいでしたが、今回、大石くん撮影の「五稜郭」その映像の素晴らしさに驚いています。

五稜郭も西洋風で素晴らしいというが、幕府直轄の奉行所もいいですね。

そして主役の榎本武揚と土方歳三のこともしっかり頭に入れました。

戊辰戦争で思い起すのは森くん宅で見せてもらった戊辰戦争に踊郷(現在の霧島市牧園町)から新潟県新発田市付近に出陣したことを日記に残した「平山泰介事績書付属 出軍道中記」です。

この日記の事は牧園町当時の「牧園町郷土誌」にも取り上げられていますが、その郷土誌によると先ず「鳥羽伏見の戦い」(初戦は慶應4年・1868年1月3日～1月6日)の前年・慶応3年(1867)、薩長の盟約に対し倒幕の密勅が下された。

(10月14日) 薩摩は西郷を参謀として、藩主・忠義みずから三邦丸に乗り込み、三千の兵が軍艦三艘に分乗し、鹿児島を出発した。

この時踊郷からの従軍は次の5名である。(その中に一人に平山泰介さんの名前がある。なお平山泰介さんは、森義邦《森くんの高祖父で天保6年・1835生まれで戊辰戦争の時は33歳》さんの奥さんの弟であり、森くん曾祖父市介さんの叔父さんにあたる)

しかし、将軍が自ら大政を奉還したため12月9日、王政復古が宣せられた。そのため薩軍は無用のように思われたが、将軍に対する辞官納地の要求が発せられると佐幕派を刺激したため翌慶應4年(1868)1月鳥羽伏見の戦いが起こり、薩長両藩を中心とする新政府軍との間に、いわゆる戊辰の役が始まった。

この戦いで旧幕府軍打ち破った新政府軍は江戸へ引き上げた慶喜を追って征討の軍を起し、江戸を攻め下った。しかし既に戦意を失って恭順の意を示し、同年4月、政府軍は戦うことなく江戸城を接收した。

しかし、会津藩をはじめ東北地方の諸藩は、なお新政府に反抗する態度を示したため、新政府はこれを攻撃し、激戦の末、同年9月会津藩を降伏させて東北地方を平定した。



この戦役に出兵したのが平山泰介などである。牧園町郷土史と日記によると当時新発田には東征大総督府の本営があった。この日記の日付に前後した頃、西郷隆盛率いる薩摩の兵も新潟に上陸(8月11日)しているが、これは新発田には行かず23里離れた松ヶ崎に陣した。

たけだ あやさぶろう
武田 斐三郎



1827年(文政10年)～
1880年(明治13年)

五稜郭の橋を渡ると「武田斐三郎の顕彰碑」があります。彫像の顔が光っているのは、触ると頭がよくなるという噂が広まり、なでまわされたからです。



武田斐三郎

すでに長岡城は陥落しており、9月14日の山形の米沢に進駐(降伏後すでに10日)24日会津降伏、27日庄内の接收に当たった。29日庄内をたち、江戸経由、10月中旬京都に行き数日滞在(相国寺)11月に鹿児島に帰着。この日記のことは、以前も少しだけ書いたが、他にも興味あることが書いてあるのでいずれ書きたいと思いながら今日に至っている。

東北の戦いと同じ頃、駿河、遠江70万石の減封になり、8万人の幕臣を養うことが困難となり海軍副総裁の榎本武揚は蝦夷地に旧幕臣を移住させ北方の防備と開拓に当たらせようと画策する。

そして主力艦隊を残すことを目指したが行く先々で戦い利あらず、遂に追われて蝦夷地まで行ってしまふ。

その末に大石くんの動画でも解説があるようにこの箱館の五稜郭の戦いは凄まじいものだったということを知りました。

隈元

●隈元くん



すごい(細部に渡る)戊辰戦争(森くんの先祖の活躍を絡めて)を語ってくれました。

久しぶりの隈元歴史史観に接して、自分の拙い函館五稜郭訪問の画像が、少しはきっかけというか? 参考になったことは嬉しいことです。

今思えば五稜郭内部の写真など3割ほどカットしてしまいました。動画に加えればよかったですね。

●明治初めに複数のラストサムライがいましたが、五稜郭公園内を歩きながら馬に乗って先頭を進む土方歳三こそ最後のサムライの姿だと思いました。

彼のラストシーンは諸説あるようですがこれ(添付)が一番近いのではと思います。

歳三の最後を見届けて届けた男・安富才助と彼が届けた文書を添付します。

●森さん 強い繋がりですね



東北での戊辰戦争はしなくてもよい戦争を無理やり起こした感じがします。

江戸開城で、決着はついていた。西山 和宏

大石さん隈元さん西山さん森さん



今回の 大石ケイジ奥羽スケッチ 函館五稜郭 を見せて頂きました。

いつもの 西山さんのコメント、隈元さんの歴史的出来事の追記 森さんの祖先のお話 戊辰戦争といろいろな話題 などなど...

いつも 以上に 興味深く 時間かけ 読ませていただきました。

有難うございました。 木場 祥雄

かごしま街道見聞記(谷山筋)12

8月21日



●山岡鉄舟が指宿で西郷さんと温泉に入ったとは実に愉快なお話です。

この人には嫌な話がまったくありません。

山岡鉄舟といえば、貧乏、来客があると妻女が衝立に身を隠して対応したとか伝えられているが、父から残された大金を大勢いた弟妹を養子に押し込みなどに使い果



たしたとも言われている。

お寺らしくない構えの全生庵は、台東区谷中、夕焼けだんだんの近くにあり、圓朝の怪談話、中曽根さんや安倍さんが座禅を組んだことで有名です。

西郷さんが天皇周辺から女官を遠ざけて、山岡鉄舟を侍従にしたことは皇室にとって大変良いことであったと思う。指宿、小学3年生くらいのとき遠足で行って、足元の砂から湯が沸き出る銭湯に入った。今でもそのような銭湯が残っているであろうか？

7 文 化 2023年(令和5年)8月21日 月曜日 南 日 本 新

谷山筋⑫ 指宿市

かごしま 街道見聞記 171 桐野 作人

指宿市の二月田温泉は藩政時代、鄙ひた湯治場だったが、文政10(1827)年、藩主・島津斉興が仮屋を建ててから「殿様湯」とも呼ばれた(三國名勝図会「一」)。現在も遺構が残っている。

じつは、この温泉で西郷隆盛と山岡鉄舟が会見し、共に

二月田で西郷、山岡会見

湯浴みしたという。あまり知られていない話である。どういふいきさつだったのか。

山岡鉄舟(鉄太郎高歩、1836~88年)は旧幕臣で、慶応4(1868)年の東征のとき、決死の覚悟で駿府の西郷と面会し、江戸無血開城のきつかけをつくった人物。また江戸の薩摩藩田邸での西郷と勝海舟の会談にも同席していた。維新後は明治政府に出仕、明治6(1873)年5月に明治天皇付きの宮内少丞になっている。

同年10月、征韓論政変に敗れた西郷は11月に帰郷、県内各地で狩猟生活に明け暮れていた。

一方、かつて「国父」と呼ばれた島津久光は同年、天皇の命で上京、内閣顧問兼左大臣となっていた。しかし、急進的な洋化政策を進める政府主流派との折り合いが悪く、翌7(1874)年2月、佐賀の乱が勃発すると、鹿児島士族への影響を危惧してその鎮撫のためという名目で帰郷していた。

天皇は久光を心配して速やかな帰京を命じるため、宮内大輔・方里小路博房と同少丞の山岡を勅使として鹿児島に派遣した。2人が鹿児島に着いたのは4月2日。久光は勅に応じて15日に勅使と共に上京の途についた(島津久光公実紀「三」)。

勅使一行は鹿児島に2週間滞在したわけだが、その間に山岡が二月田温泉にいた西郷を訪ねたことを、指宿出身の研究者・石田孝氏が論証した(同氏明治七年春『西郷どん』ふたつの指宿温泉会談)。

石田氏によれば、この会談は西郷関係の史料には記載がないが、山岡関係の史料には散見されるという。たとえば、葛生龍久「高土山岡鉄舟」(1929年刊)には「一日居士(山岡)は南洲と会談し、席上相互に揮毫された」とある。会談の場所は書かれていないがこのとき、西郷が揮毫した「成趣園」の三字は山岡ゆかりの全生庵(東京都台東区谷中)に所蔵されている。石田氏はそのいきさつも含めてこれを確認している。

石田氏は、勅使の滞鹿中、西郷が二月田に滞在していたことも明らかにした。

その時期、西郷が南薩方面に狩猟の旅に出掛け、二月田に1週間ほど滞在していたことを、家僕の間長四郎が証言している(南洲翁逸話)。もっとも、鹿児島島の出発時期について、長四郎が記憶違いをしていて、同年1月末でなく3月末だったと指摘されている(池田芳宏「西郷隆盛と温泉」)。

石田氏はこれに着目して、西郷と山岡の会見は、二月田だったことを明らかにしたのである。

勅使派遣に関して、右大臣・岩倉具視の覚書がある。その一条に「西郷大將へ所勞御見守云云。御沙汰の事、御菓子一折下さるの事」とある(二玉里島津家史料七、二〇四)。

勅使には久光への帰京命令伝達のほか、西郷への見舞いと菓子の下賜という任務もあったことがわかる。天皇には憤然と帰郷した西郷を慰める思いがあったのだらう。その任にふさわしいのはやはり山岡だった。

二月田で西郷はいかなる感慨を抱いて久闊を叙したのだろうか。想像は尽きない。

(歴史作家 川隔週月曜付に掲載)

西山さん！



いい話をたくさんありがとう😊

ぼくも何とはなくですが鉄舟は好きな人物です。

何かにつけて「一生懸命」な人というイメージを持っています。

大石



西郷さんと温泉や猟の話は有名ですが、これまでに私が知るところでは、鹿児島県の大隅半島も含めて各地にその足跡を残しているようです。

二回目の島流しにあって、1862年症沖永良部の最初の牢屋の環境の悪さで蚊が媒介すると言われるフィラリア症・象皮症にかかったのは34歳の時と言われています。

この病気は糸状の寄生虫が人のリンパ管やリンパ節に寄生し身体の末梢部の皮膚が増殖して硬くなる象皮症や陰嚢に水が溜まる陰嚢水腫などを引き起こすとのことで、西郷さんも亡くなる49歳まで苦しんだものと思われま

その間、上記のように温泉や猫を楽しんだと言われていますが、交通手段も現在とは比較にならないその時代に県下一円で移動できたということはそれほど症状は酷くなかったのでしょうかね。

ただ晩年は有名な逸話として残されているように「陰囊が人の頭ほどに膨れ上がって馬にも乗れなくて駕籠で移動した」とか「城山で非業の死を遂げて、首なし遺体で見つかった時には、陰囊の大きさを西郷さんと判定された」など言われています。

話が逸れてしまいました。ゴメン！

隈元達雄



大石さん

西山さん隈元さん

かごしま街道見聞記 谷山筋12 の新聞記事より いろいろなコメント 楽しんで読ませていただいております。

有難うございます。木場 祥雄



木場さんも クマタツさんもお元気でね

他の人たちもそれぞれ頑張っています

西山和宏

17:20

西山さん

大石さん

隈元さん

森さん

崎元さん



退院後 特に問題なく 朝は マンション内で 20分間 健康延寿体操など しながら 過ごしております。

大石さんより いろいろと スケッチ見聞記などなど メール送られてきていますので ただただ 知識吸収 興味深く 読ませていただいている感じで 皆様みたいに コメントできるようになく、ただ、読ませていただいているのが実情で 鹿児島も知らないところが たくさん あるのだなあ・・・と思いながら 読んでいます。楽しいです。

有難うございました。

木場 祥雄

